

平成30年度 庄内こどもの杜幼稚園 年長組 運動会 杜のお手伝い隊の様子① 6/25

お手伝い隊、何をするの？から始まった話し合い。みんなの為に、どんなことが出来るかな？と各クラスで色々と考え、学年ごの内容を決めていきました。内容をイメージすることが難しく、この日、クラスで再度詳しく話し、自分の得意なことを活かせるグループや挑戦してみようと思うグループに決めていきました。より内容を深められるようにと今年度からはグループで進めています。

幼稚園グループ

救急隊グループ

お手伝い隊(救急隊グループ)が集まると、「先生!! このグループは救急隊やで!!」とやる気がいっぱいな様子の子どもたち。救急隊の内容を決めていく前に、「何故、お手伝い隊をするのか?」という意味をみんなが考えました。「お客さんたちが困ってたらかわいそうやから助けてあげるため!!」や「幼稚園の子どもたちみんなが楽しんだり、助けるため!!」や「先生のお手伝いをして助けてあげる!! だからちんとしないとあかんねんで!!」と子どもたちの考えを教えてくださいました。その後に「じゃ、救急隊、何?」と質問すると、「看護師の先生みたいに怪我した人を助ける!!...でもどんなことするんやろ...?」ということになったので、次回の活動までの宿題として家で調べることになったので、「家庭と一緒に考えて頂けると嬉しく思います!」他に、「救急パックを自分たちで作りたい!!」や「救急車を作って、来たらみんな道をあけてくれよう!!」と今後の活動も楽しみます!!

稲葉



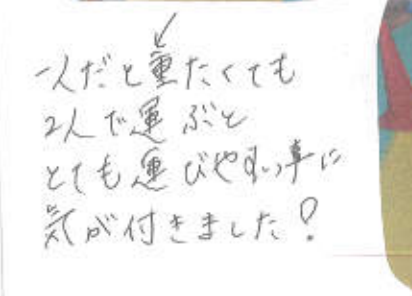
道具出しグループ



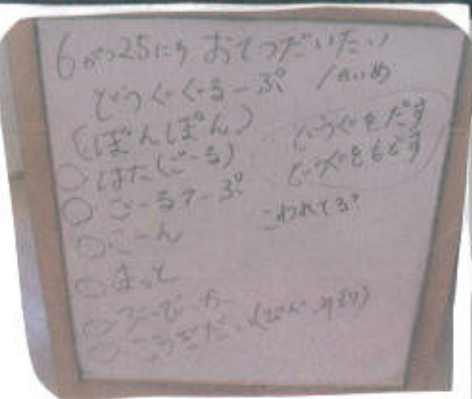
今日は初めてのお手伝い隊の日。最初は「おてつだいたいはなにをするの?」や「道具出しってどんなことするの?」から話をしました。1人1人に聞いていくと「みんなを助けてあげる!」や「マットをこーこーだす!」「ゴールテープ引、張ってあげる!」など来年度のお手伝い隊がやりたい事を思い出し、たくさんの方が出ました。



その後は実際にどんな道具があるのか、どのくらい重たいのかを確かめ、ホールに行きました。コーンやマット、巧技台を持ち、「水やたらびりぞ持てるわ!」や「重たっからみんな持て!」「いっぱい持てる!」(ほとんども達同士で試行錯誤しながら持ち運び方を試していました)



一人だと重たくても二人で運ぶととても運びやすい気が付きました!



最後は運動会のお手伝い隊の様子をパソコンで観ました。次回は6月27日(水) 那須

ひょうじグループ

今回の活動は、「表示」の意味を考えました。辞書で文字の意味を調べ、「これってたまたまコンサートの時のホスターと一緒にやな」など経験を基に文字の意味を理解していました。話の後には園内の表示探しをしました。各クラスの前にあるクラスの名札は「これは場所がわからないから貼ってる」、給食室前の食材置き場には「どんな栄養があるか教えてる」など表示の中でも様々な意味合いの表示があることに気付いていました。意味を調べたり、園内を見て回ったりなど活動を通して、最終的には「わからない人に教えてあげる」と子どもたちの中でまとまりました! 今後はこのテーマを基に表示作りを進めていきます! 次回は園児席の表示作りをします! 画用紙の色や、絵にこだわって作っていくのでぜひ楽しみにしててください。塩飽



これも表示やな!



これは栄養を教えられてるやつや



これは栄養を教えられてるやつや

応援グループ

初めのお手伝い隊の活動で、応援グループの子ども達は、わくわくしている様子でした。活動前にまず、円になって自己紹介をしました。子どもたちは、取っ手かしゃりなから名前、クイズ、好きな事を紹介合っていました。その後、応援についての話をし、実際に応援したことがある子がとても少なかったため、急遽積み木でゲーム対決をしました。初めは、「がんばれ! たびていたが、どっちも頑張れ、や大きく積む等自分達なりに、アレンジして応援していました。「なんぞんなんたん?」という子どもに対して「応援したことな子が多かったから、ほんまに応援したんせん、子ども同士活動の意味も説明していました。実際に、応援にみる事でイメージが広がり、応援するの嬉しいや、手を叩いて応援するのう等、応援される側の気持ちも考える事が出来ています。次回は、応援旗や楽器を作りたいという、子どもの気持ちを大切に、一緒に作っていきたいと思います。

岩崎

▼円になって自己紹介



▼写真を見ながら話し合い



▼「大きく!がんばれ!」



年下のお手伝いグループ

年下グループの活動では、どんなお手伝いがあるのかを話し合いました。自分達が過去にしてくれたこと等を思い出しながら、「かけ、この時に、順番に並ばせてもらった」や、入場行進の動画を見ようとしたときには、「小さい子の手を繋いであげるんや」と言っていた自分たちがしてもらっていたお手伝いを決まらせてあげていました。「乳児のお手伝いに行くと仲良くな、たほおがいいやん」と言う姿もあり、お手伝いにいくことになった時には、手遊びの「いごがころころ」と「とんとんとんひげ爺さん」ならみんなできるといった意見が多くあり、何度も練習して最後には、全員が自信をもって「できる」と言っていました。本山

